

昭和40年秋季年会(仙台)

講演予稿集

於 東北大学金属材料研究所講堂

日本天文学会

目次

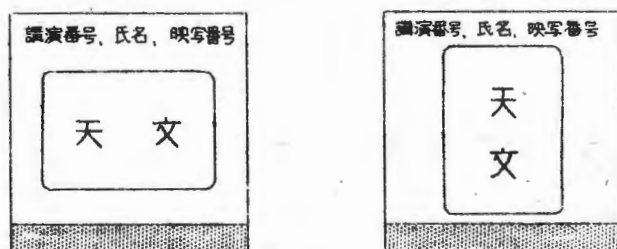
	概略内容分類	講演番号	頁
第1日午前	太陽系	1 — 6	1
	実験観測装置	7 — 9	5
	天体力学	10 — 12	6
第1日午後	位置天文学	13 — 28	7
第2日午前	天体物理学(太陽)	29 — 37	15
	恒星天文学, 銀河	38 — 42	18
第2日午後	天体物理学(恒星)	43 — 55	20

註：講演所要時間の前の☒の印はスライドを使用するもの

スライド映写希望者におねがい

スライド映写にあたって、順序、表裏、上下等をまちがえないために、スライド板に下記のような説明と、記号をつけて下さい。

下の図は映されたものが、こうあってほしいと思うようにスライド板を手にとった状態です。このむきで下図のように上左から、講演番号、氏名、映写番号を右へ順に記入し、さらにスライド枠の下端に5mm幅の赤線を、たとえばマジックインキで、1本入れます。もし、枠の地色が赤に近ければ、暗いところでよく見分けられると思われる色を任意に選んで下さい。



赤線または目立つ色(約5mm幅)

日本天文学会 1965 年秋季年会

プログラム

◇日時 昭和 40 年 10 月 8 日(金), 9 日(土)

◇会場 仙台市東北大学金属材料研究所

	午 前 (9 時より)	午 後 (1 時より)	夜
8 日 (金)	研 究 発 表	研 究 発 表	懇 親 会
9 日 (土)	研 究 発 表	研 究 発 表	

- ☆ 会場は仙台市東北大学金属材料研究所の 3 階講堂で、市電は南町東一番丁交差点下車、東一番丁から入る北門の手前で右へ曲り、約 50m 行った右手の建物。
- ☆ 8 日(第 1 日) 正午より理事会を開催いたします。
- ☆ 講演者は時間厳守に御協力下さい。

第 1 日 10 月 8 日 (金)

【午前】 (9 時より)

分

1. 広瀬秀雄, 加茂 昭* (東京天文台, 和歌山大*): 四分儀群写真流星の整約……………10
2. 広瀬秀雄, 長沢 工* (東京天文台, 東大理*): 流星の分光観測 (Ⅲ) …………… 6
3. James E. Hansen (アイオワ大): 惑星大気内の dust について……………10
4. 赤羽徳英 (花山天文台): 月面の格子構造について (I) Observation…………… 8
5. 松丸 勝 (防衛大): レンジャー衛星にて得られた月面のビデオ写真の特長………… 6
6. 松丸 勝 (防衛大): 山岳地におけるビジコンカメラによる粒状斑のビデオ観測… 7
7. 高柳和智 (京大理, 竜谷大): 岡山 36" の 3 色光電測光 System について………… 8
8. 市村喜八郎 (東京天文台): Double Latensification (二重潜像補力) について………… 7
9. 秋山 薫, 平山智啓* (法政大学, 東京天文台*): ヒルダ群小惑星の秤動 (Ⅱ) … 7
10. 畑中至純 (東大理): 冥王星-海王星の秤動について……………10
11. 堀源一郎 (東大理): プルートスの長年摂動……………10

【午後】 (1 時より)

12. 奥田豊三, 須川 力, 高木重次, 弓 滋, 古川麒一郎 (緯度観測所): VZT
観測データ処理の自動化 (Ⅱ) ………………10
13. 後藤常男 (緯度観測所): 緯度観測における Night Error と Meso-気象的
気圧場の関係……………10
14. 須川 力, 後藤 進, 後藤常男 (緯度観測所): 緯度観測における VZT と
FZT の器械比較の問題 (Ⅱ) ………………10
15. 村上源吉 (緯度観測所): 水沢 PZT 星の固有運動 (Ⅱ) ………………10
16. 古川麒一郎 (緯度観測所): FZT 赤緯体系と基本星系の関係 (Ⅱ)……………10
17. 高木重次, 堀合幸次, 角田忠一 (緯度観測所): 水沢における超長波受信に
ついて……………10
18. 飯島重孝, 虎尾三春 (東京天文台): GBR の位相変動の季節的推移……………10
19. 飯島重孝, 岡崎清市 (東京天文台): 1933~63 年における時刻観測結果か
ら求めた極運動 (Ⅰ) ………………10
20. 奥田豊三, 須川 力 (緯度観測所): 水沢における緯度の永年変化について…………15
21. 弓 滋, 中川一郎* (緯度観測所, 京大理*): 極運動の性格……………10
22. 角田忠一 (緯度観測所): 極運動の減衰比……………10
23. 関口直甫 (東京天文台): 極運動の減衰係数 (Ⅳ) ………………10
24. 飯島重孝, 岡崎清市 (東京天文台): 拡張 Orlov 平均と Melchior 平均の比較…………10
25. 若生康二郎 (緯度観測所): 地球自由章動の振幅, 周期及び位相について……………10

26. 関口直甫, 松本惇逸, 宮本文子 (東京天文台): 堂平山の極望遠鏡 (II)10
 27. 安田春雄 (東京天文台): 小惑星観測と基本星系 7

第 2 日 10 月 9 日 (土)

【午前】 (9 時より)

28. 鈴木義正 (京都学芸大): 太陽外縁近くの黒点と黒点面の落込みの深さについて10
 29. 齊藤国治 (東京天文台): 本年の南太平洋日食観測の概報10
 30. 川口市郎 (京大理): 紅炎のバルマー輝線幅に就いて10
 31. 日江井栄二郎 (東京天文台): 彩層低部の温度勾配 7
 32. 末元善三郎 (東京天文台): K 線の構造10
 33. 平山 淳 (東京天文台): 乗鞍コロナ・グラフによるプロミネンスのスペクトル (I) 5
 34. Andrew A. Lacis (アイオワ大): 太陽紫外連続スペクトルの周辺減光10
 35. 長沢進午, 中込慶光 (東京天文台): Ca^+ プラージュと緑色コロナとの関係10
 36. 河鱒公昭 (東京天文台): Corpuscular Cloud の運動について10
 37. 清水 彊 (京大理): 運動する粒子に働く Random Gravitational Forces10
 38. 石田蕙一, 松波直幸, 大脇直明* (東京天文台, 水路部*): 小宇宙の 3 次元構造の観測 (II); NGC 4565, NGC 4762, NGC 5907 8
 39. 佐藤文男 (東大理): 電波星雲の物理状態10
 40. 赤羽賢司, 森本雅樹, 横井 寛*, 佐藤敏雄* (東京天文台, 国際電々 K. K. *): 4170 Mc/s に於ける W 44 及び W 49 の観測 7
 41. 小暮智一 (京大理): 星雲電波源の進化 (II) 8

【午後】 (1 時より)

42. 藤田良雄, 辻 隆, 前原英夫 (東大理): 炭素星に於ける $\text{C}^{12}/\text{C}^{13}$ 比量について (II)10
 43. 内海和彦 (東大理): 炭素星の眼視域スペクトル (II)10
 44. 下保 茂, 大橋 満 (東京天文台): 超新星の光度観測 (II) 7
 45. 大沢清輝 (東京天文台): HD 221568 の干渉フィルター及びスキャン 測光器による観測 7
 46. 寺下陽一, 松島 訓 (アイオワ大): DA 型白色矮星の大気構造について15
 47. 成相恭二 (東京天文台): 水素欠乏星のモデル大気10
 48. 下田真弘, 菊池 仙, 海野和三郎 (東大理): 星間雲の熱的条件について10

49. 海野和二郎, G. A. Spiegel* (東大理, ニューヨーク大*): 熱エネルギー方
程式に対するエディントン近似…………… 8
50. 海野和二郎, 岡本 功 (東大理): セファイド型不安定についての Baker
の一層モデルの改良……………10
51. 竹内 峯 (東北大理): δ Cep の “位相のずれ” について…………… 5
52. 尾崎洋二 (東大理): 大熊座W型星のモデル (Ⅲ) ……………10
53. 上西啓祐 (熊本大理): 超高温における電子の縮退について…………… 5
54. 上西啓祐 (熊本大理): 超高温におけるガス圧と全圧との比について…………… 5